

【ポスター発表】

居宅と施設のケアプランの連動における現状と課題
－居宅介護支援専門員と施設介護支援専門員の調査結果を比較して－

○ 静岡福祉大学 氏名 檜木博之（会員番号 6324）

キーワード：施設介護支援専門員 ケアプラン 連動

1. 研究目的

介護保険制度におけるケアマネジメントは居宅だけでなく、施設においても実施されている。介護保険施設内で介護支援専門員がケアプランを作成し、各専門職が共通の目標に応じてチームアプローチを行っている。しかし一方で、施設介護支援専門員は「施設内での役割が不明確」という課題も挙げられている。この課題は、介護保険制度施行から現在まで続いている。介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上と今後のあり方に関する検討会（2013）が出した「介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上と今後のあり方に関する検討会における議論の中間的な整理」の中で「施設における介護支援専門員の役割が明確でない」¹⁾と施設介護支援専門員の課題を指摘している。

居宅介護支援事業所の介護支援専門員が進めてきたケアマネジメントが、施設の介護支援専門員に引き継がれて、継続的なケアマネジメント実践が展開されているか、についても課題といえる。居宅でのケアプランを踏まえて、介護保険施設の介護支援専門員がケアプランを作成し、シームレスなケアマネジメント実践が行われているかは明確になっていない。本発表では、居宅で作成したケアプランと施設で作成したケアプランが連動しているのかの現状及び課題を明確にしていくことを目的とする。

2. 研究の視点および方法

研究方法は A 県内の介護保険施設 450 施設（介護老人福祉施設 249 施設・介護老人保健施設 123 施設・介護医療院 27 施設・介護療養型医療施設 5 施設、地域密着型介護老人福祉施設 46 施設）の施設介護支援専門員、及び居宅介護支援事業所 1129 事業所の管理者に質問紙を郵送し、全数調査を行った。

質問紙の内容は、介護保険施設では「居宅介護支援事業所の介護支援専門員からケアプランの提示の有無」「施設ケアプランを作成する際に、居宅ケアプランを参考にしているか」、居宅介護支援事業所では「在宅から介護保険施設に入所する際の居宅のケアプラン提示の有無」「介護保険施設から在宅復帰される際に介護保険施設の介護支援専門員から施設ケアプランの提示の有無」等とした。また、施設介護支援専門員が居宅の介護支援専門員と連携を行う際の課題、居宅介護支援専門員が施設の介護支援専門員と連携を行う際の課題については自由記述とした。

回答数・回収率は介護保険施設 266 施設（59.1%）、居宅介護支援事業所 679 事業所

(60.1%)であった。

3. 倫理的配慮

倫理的配慮として、質問紙を郵送する文書に研究目的及び収集したデータの取扱い等について説明を記載した。そして回答をもって同意を得たこととした。また、本発表を行う際、事業所及び個人が特定されないよう配慮している。研究者が所属している静岡福祉大学内の倫理審査申請を行い、承認を得ている。(SUW22-12 令和4年12月20日)なお、本研究に置いて利益相反(COI)はない。

4. 研究結果

①居宅から施設への入所

介護保険施設の介護支援専門員からの回答では、「施設入所の際の居宅介護支援事業所の介護支援専門員からケアプランの提示」について「ほとんどのケースでない」が7割、「居宅ケアプランで記載されているインフォーマルサービスを施設ケアプランで位置づけているか」については、「ほとんど位置づけていない」が6割であった。

居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの回答では、「居宅のケアプランの提示」は「ほとんどのケースでしていない」が約6割だった。

②施設から居宅への退所

介護保険施設の介護支援専門員からの回答では、「居宅介護支援事業所の介護支援専門員への施設ケアプランの提示」は、「ケースがない」が約6割、「ほとんど提示していない」が約2割だった。居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの回答では、「施設ケアプランの提示」では「ケースがない」が約5割、「ほとんど提示がない」が約4割だった。

③連携についての課題（自由記述）

介護保険施設の介護支援専門員は、「ほとんどの居宅介護支援専門員は施設介護支援専門員と連携する必要性を感じていない」「入退居に関しては相談員が主となり対応している」等の意見があった。居宅介護支援事業所の介護支援専門員は、「施設入所の窓口が相談員なので、施設介護支援専門員と直接話をするのがない」「介護支援専門員とケアプランの打ち合わせはない」等の意見があった。

5. 考察

介護保険施設・居宅介護支援事業所どちらの介護支援専門員も、居宅と施設でのケアプランの連動を行っていないとする回答が多く、またその必要性も感じていないとの声も多くあった。本調査からは居宅と施設でケアプランの連動は出来ておらず、それぞれが作成を行っている状況である。同じ介護支援専門員同士にも関わらず、シームレスな連携ができていないことは課題である。

1) 介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上と今後のあり方に関する検討会「介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上と今後のあり方に関する検討会における議論の中間的な整理」（2013）P5